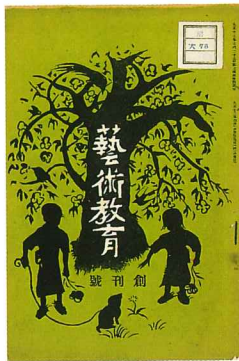




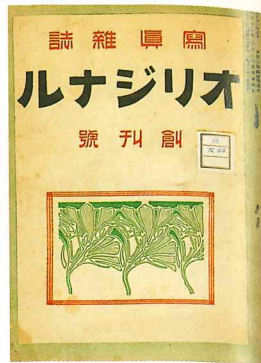
エボック(裏表紙)



踏影
1922年11月 東京・踏影会



芸術教育
1923年4月 東京・集成社 表
紙：松岡正雄



写真雑誌オリジナル
1923年4月 東京・写真雑誌オ
リジナル社

森仁史が読む

『潮』と東京高等工芸

この雑誌は筆者にとって長らく幻の雑誌だった。というのは、日本のデザイン史研究にとりかかって、東京高等工芸学校(現千葉大学工学部)という戦前で最も体系的で規模の大きかった官立のデザイン学校を調べていくうちに、学校創立の翌年(1923)に、このタイトルの雑誌が学内雑誌として刊行されたことを知った。しかし、千葉大学にも国会図書館にもこの雑誌は見つからなかった。

この学校は伊藤憲治、大橋正、やなせたかしらのグラフィック・デザイナーや富谷龍一、佐々木達三、剣持勇、渡辺力、豊口克平といったインダストリアル・デザイナー、あるいは池田三四郎、影山光洋、平山忠治、大東元らの写真家、堀内正和、本郷新、土佐林豊夫といった彫刻家や日根野作造、中里太郎右衛門らの工芸家まで幾多の人材を輩出しているが、戦後は総合大学の一部になってしまったためかやや影が薄い。

そんな小生が同潤会代官山アパートの展示に参加し、そこで岩波書店のK氏と知り合った。代官山アパートは型而工房という日本で最初のモダンデザインを实践した同人組織の根城のあったところである。数年後、K氏から『『潮』って知ってますか』と電話を貰って、二つ返事で飛んで行った。「こんな珍しいものがあるとは」と他の雑誌もどんどん見せてもらって、岩波書店の充実したコレクション振りに全く仰天してしまった。

『潮』は思ったよりもしっかりした造りで、表紙は単色ながら石版印刷だった。荒海に漕ぎ出す帆船と遠くの

灯台を描いたのは京都出身の図案科生伊藤仙太郎のようだが、この若者は5年後に早世している。序文には、明治洋画のバイオニアでイタリア留学の経験のある松岡壽校長が「凡そ如何なる事業に関はるものと雖も、自分の意思を筆に口に充分発表し得る修養をなすことは極めて心要である」と今でも立派に通用する信条をこの雑誌を創刊する理由として記している。こんな校長のもとで教員も学生も新たな表現分野に挑戦したのだった。

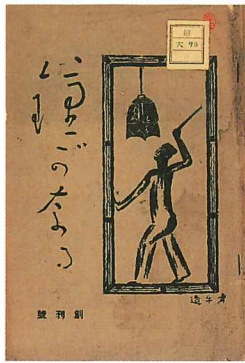
次いで巻頭エッセイ「幼ない考察二つ」を書いているのが村越道守なのは意外だった。村越は新しい工芸を目指していた工芸作家団体無型の同人でもあった豊田勝秋助教授の指導のもとで、やがて新進の金工作家として世にでるのだが、このとき金属工芸科2年生で22歳だった。村越も造形界にも吹き荒れた大正生命主義のまさしく申し子だった。しかも、1920年代に日本を覆った生活改造の波が若者の思いを倍化し、「芸術は私たち人間の生活の表はれでなければならない」と声高に主張している。花瓶や小箱、照明器具といった生活の場に供される工芸品に草花や結実という生命感を表わす図柄が溢れた。彼らは美術工芸の殻を破って、新しい生活様式の創造と一体化しようとしていた。

さらに、学芸部員取材による鎌田弥寿治(写真部教授)、神矢教親(金属工芸科教授)への留学体験についてのインタビュー、それから学生の短歌、俳句、自由詩、戯曲などかなり多くの創作が収められている。

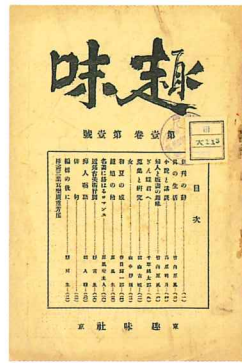
図案工芸科の宮下孝雄教授はかつて東京府立工芸学校で製版科創設に尽力し、後にモダン・タイポグラフィーの第一人者となる原弘の育ての親であった。後にはこの学校でも製版工場を運営したが、この号は名門印刷会社の三秀舎で印刷されている。



山精
1923年4月 東京・山精社



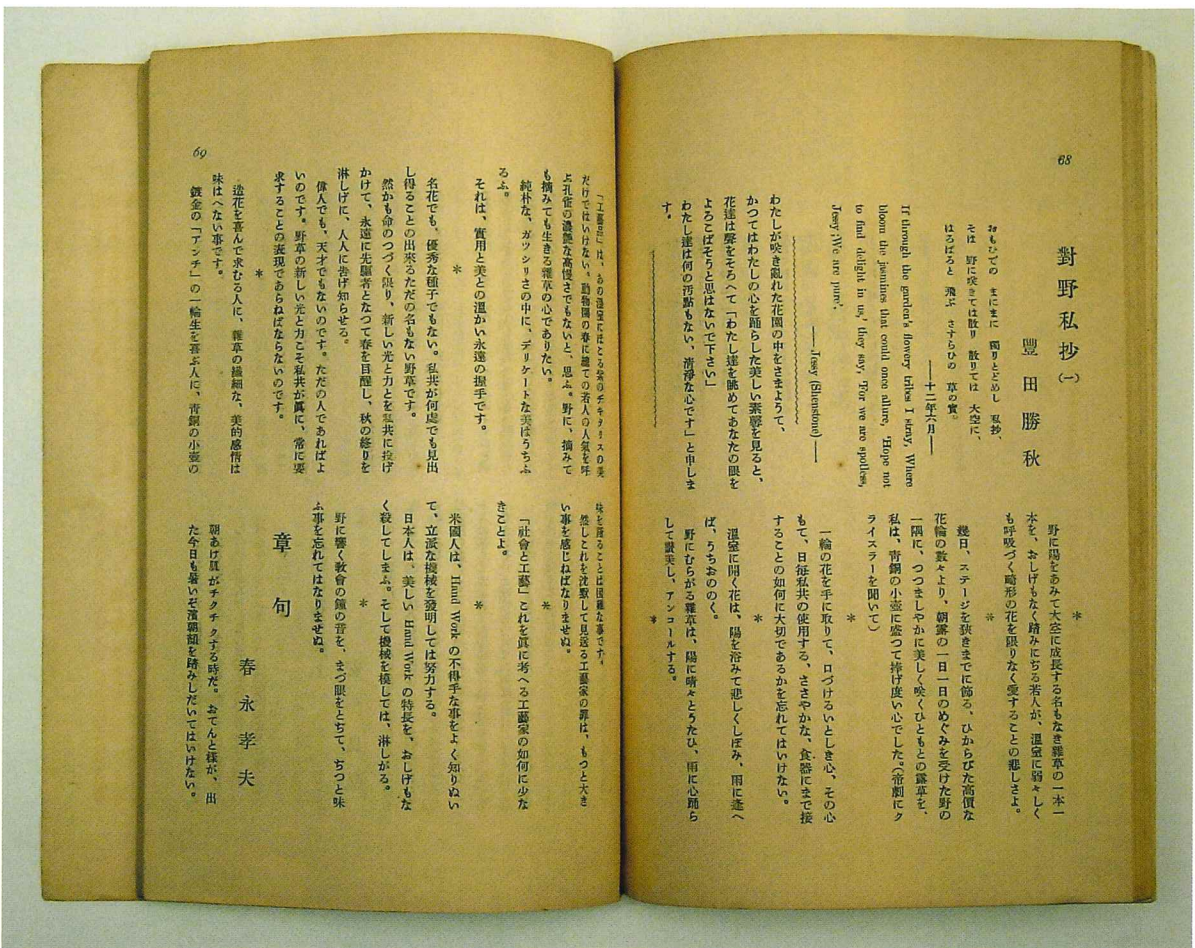
鐘がなる
1923年4月 東京・鐘が鳴る社
表紙: 安田朝彦



趣味
1923年6月 東京・趣味社



潮
1923年7月 東京・東京高等工芸学校校友会
表紙: 「せんたろ」



金属工芸科助教だった豊田勝秋のエッセイも、生命主義に彩られている(『潮』)

その後、この雑誌が『テクネ』と改題される1930年代には、若者たちを捉えるのは機械美や構成主義へと移っていくのだが、この創刊号は誌面だけでなく姿かたち

からも1920年代の息吹を發散しているように感じられる。
(もり・ひとし デザイン史研究)

創刊号の
パノラマ

近代日本の雑誌・岩波書店コレクションより

うらわ美術館・岩波書店編集部編

岩波書店

協力……………コニカミノルタ ビジネスソリューションズ

本書製作に当たって、
表紙図版等の著作権者不明のまま掲載したものが
あります。
お気づきの方は編集部までお知らせください。

創刊号のパノラマ

近代日本の雑誌・岩波書店コレクションより

2004年9月3日 第1刷発行

編者……………うらわ美術館・岩波書店編集部

発行者……………山口昭男

発行所……………株式会社 岩波書店

〒101-8002 東京都千代田区一ツ橋2-5-5

電話(案内) 03-5210-4000

<http://www.iwanami.co.jp/>

印刷……………大日本印刷

製本……………松岳社